

学校教育目標【切 磋 琢 磨】〈 鍛 え ・ 磨 き ・ 高 め ・ 輝 く 自 分 〉

～ 心豊かに人や地域と関わり合いながら たくましく生きていく生徒の育成 ～

〈 10年後の社会 〉

- 1 AIによる生活環境や労働環境の変化
- 2 価値観の流動化
- 3 大量消費社会から循環型社会へのパラダイムシフト
- 4 生き残りをかけた地方の活性化

〈 願う本校生徒の姿 〉

- 1 環境の変化に柔軟に対応できる生徒
- 2 物ごとの価値を冷静に見つめ、行動に移すことができる生徒
- 3 地域の一員としての自覚と、地域への愛着を持った生徒

〈 本年度の重点 〉

- 1 言語や情報を正しく活用して自分の判断に生かす
- 2 様々な価値観に触れる
- 3 あいさつや清掃など基本的な生活力の確立
- 4 他者への思いやり

〈生徒・保護者の願い〉

- わかりやすく楽しい授業による学力保障
 - 風通しがよく、安心安全、悩みを相談しやすい学校
 - 状況の変化に柔軟に対応できる力の育成
- ### 〈生徒・保護者・地域の評価〉
- 落ち着いた雰囲気の中、学習や清掃・あいさつがよくできる学校
 - 部活動や地域の活動を一生懸命にやろうと願っている生徒

《教科授業でつけたい力》

場面に合わせた言語と情報の使い分け

- ・情報を集めるために必要な言語力
- ・大量の情報から必要なものを峻別する
- ・ディベートや対話、討論を活用したコミュニケーションスキルの向上

基礎的・基本的な学力の定着

- ・ドリルや小テスト、単元テストによる定着
- ・CRT検査や定期テストの分析を活用
- ・授業とリンクした家庭学習

ICT機器の活用

- ・タブレットを使った学習の機会を設ける
- ・情報交換やプレゼンテーションなどの実践

言語や情報の活用と判断

《日常の中でつけたい力》

自主的に行動できる力

- ・感情をコントロールする
- ・見通しをもって計画的に行動する
- ・ルールを踏まえて、建設的に自分の考えを述べる

自分と違った価値観に触れる

- ・お互いの考えや意見を尊重する
- ・互いに協力すべきことは協力する
- ・意見の対立を解決していく力

基本的な生活力を身に着ける

- ・自ら進んで、気づきのある清掃
- ・誰にでもできる気持ちの良い挨拶
- ・提出物を必ず出せる工夫をする

様々な価値観のあいさつ・清掃

《総合的な学習・特別活動でつけたい力》

集団に学ぶ（臨海学習・登山学習・職場体験・修学旅行）

- ・集団の中で自分を生かしながら、相手を意識した行動ができる

自分と社会のこれからについて

- ・進路学習（職場体験学習や進路講話）で自分の将来を考える
- ・持続可能な開発目標（SDGs）についての理解を深め、どのように対応していったらよいか考え、実践していこうとする

いのちの大切さを学ぶ

- ・性に関する教育、福祉教育、薬物乱用防止教育、防災教育で命を大切にすることをやしなう

生徒会活動

- ・どんな相手とでも一緒に仕事ができる
- ・行事やイベントをやり遂げた時の喜びを味わうことができる

他者への思いやり

《お互いを思いやり、共に学び育つことができる学校》

○人権の尊重といじめを許さない心

- ・いじめのない、お互いが大切にされ認め合える関係づくり

○学校になじめなくても大丈夫

- ・相談窓口・相談支援体制の充実
- ・ICT機器を使った学力保障
- ・チャレンジ教室やSSWなど外部機関との連携で対応を最適化

他者への思いやり

《地域の活性化を目指して》

○東・平根地区の魅力再発見

- ・東地区平根地区オンリーの開拓
- ・市街地に隣接する豊かな自然を生かす取組

○また帰ってきたくなる東・平根地区

- ・佐久市の将来像をイメージした進路選択
- ・第2次佐久市総合計画を見据えた地域学習

〈建学の精神〉流汗悟道



に託された。その思いは今も生徒の中に受け継がれている。

昭和33年開校の建設現場で、一戸一木の寄進植樹など、地域の人々がそれぞれのやり方で貢献した。「合併したばかりの村民の中に連帯感を育て、村の学芸文化の中心施設として東村民の心のよりどころにしようとした。」（『東村誌』東村誌刊行会） 地域の方々の熱い思いが「汗を流して道を悟る」との言葉

流汗悟道